

介護に関する専門職

ケアマネジャー

ケアマネジャー（介護支援専門員）は、介護が必要な人やその家族が在宅・施設で介護サービスが受けられるようにケアプランの作成や関係機関との連絡・調整を行い、利用者と介護サービスを繋ぐ役割を担っています。地域包括ケア実現の鍵を握るケアマネジャーについて福岡県介護支援専門員協会会長柴口里則さんにお尋ねしました。

地域包括ケアシステムへ向けての対応



利用者それぞれの生活基盤を理解し、その方が今感じていることに対応したケアプランを作成することが大切です。

福岡県介護支援専門員協会 会長
日本介護支援専門員協会 副会長
柴口 里則さん

介護のことはケアマネに

いつも利用者の方にお伝えしていることなのですが、病気のことは医師に相談しますよね？それと同じように介護のことはケアマネに相談していただいて、しっかりと在宅生活できるように取組んでいただきたいです。

その方が今感じていることに対応したケアプランを

誰しも最初から100%うまくいくわけではありません。利用者一人ひとり丁寧に対応し、ひとつの困難にぶつかったときに、学ぶ姿勢が大切です。

よく支援が困難だと感じたときに困難事例などといいますが、私の中では、困難で当たり前だと思えます。それぞれの生活環境がまったく違うわけで、70年、80年生きた方に對していきなり「あなたを支援します」といっても、それは難しいことだと思います。利用者それぞれの生活基盤を理解し、その方が今感じていることに対応したケアプランを作ることが大切です。

ケアマネは人と接する仕事であり一生涯、勉強しなければいけない仕事だと思えます。資格を取って終わりではなく、専門職として自分自身を研鑽していくことが必要です。

2025年に向け、地域包括ケアシステムの構築が急がれています。地域包括ケアシステムは我々ケアマネジャー（以下ケアマネ）がキーマンとして、しっかりとサポートしていかなければいけません。ただ言葉だけが先走っていて、ご理解されてない方も多数いらっしゃると思います。我々はもちろん、県も市町村もしっかり説明していくことが必要だと感じています。

今後は、保険者（市町村）機能の強化という観点から居宅介護支援事業者の指定権限を市町村に移譲していきます。それに対してケアマネが、市町村と連携をとることが必要とされます。

また介護支援専門員協会として地域ケア会議について、各保険者（市町村）にレクチャーしたり、会員のケアマネに対して地域ケア会議をどうやって進めていくかなど、講演会や研修を行っています。

※1 地域包括ケアシステム

介護が必要な高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に受けられる支援体制。

※2 ケアマネジャー（ケアマネ）

介護保険等の様々なサービスをコーディネートし、介護を必要とする人やその家族を支える役割を担う。

※3 介護保険制度の保険者

介護保険制度の保険者は、市町村が担う。被保険者を加入させ、保険料の設定や徴収、管理を行う。

※4 居宅介護支援事業者

ケアプランの作成をおこなうことができる指定事業者。

※5 地域ケア会議

地域包括ケア実現のため、地域の实情にそって課題を的確に把握し、解決手段を導き出すための会議。

公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南2丁目9-30
福岡県メディカルセンタービル2F
TEL 092-431-4585